

令和7年度 発達障害支援者養成講座



全日程とも時間
10:00~16:30

プログラム

基本料金
1日3300円

1日目 ★ 定員106名

9月7日(日) 神戸ポートオアシス502.503

「発達障害のある人たちの理解と支援 ー幼児から大学生までー」子どもとおとなの心理学的医学教育研究所 IPEC 吉田友子氏

「発達障害のある子どもの教育における支援ー小・中・高等学校」 県教育委員会

「個別支援計画とは」※1
西神戸高等特別支援学校 松井恵子氏

2日目 ★★ 定員85名

10月26日(日) 中央労働センター 小ホール

「強度行動障害のある方への具体的支援」
あかりの家 前阪 敬介 氏

「LDのアセスメントと具体的支援」
学校法人青丹学園 発達・教育支援センター フ
ラータルL.C. 所長 村井敏宏氏

「発達障害のある子どもの療育の実践」宮城学院女
子大学 教育学部教育学科 白石雅一氏

「発達障害のある方が利用可能な福祉サービス〜子
どもから大人まで」あいあむ 濱口直哉氏

3日目 ★★ 定員106名

11月9日(日) 神戸ポートオアシス502.503

「WISC-Vを中心とした子どもの
アセスメントと具体的支援について」大六一志

「WAIS-IVを中心とした
アセスメントと具体的支援について」大六一志

マークの見方

★ 児童必須日 児童の支援者にお勧め

★★ 成人必須日 児童・成人いずれの支援者にもお勧め

★★★ 講師のみオンライン 成人の支援者にお勧め

※1、※2につ
いては3枚目に
説明しています

4日目 ★ 定員85名

12月21日(日) 中央労働センター 小ホール

「発達障害のある子どもを支える家族の支援」
立正大学名誉教授 中田洋二郎氏

「保護者の体験談」 ペアレントメンター

講評「個別支援計画」※1
西神戸高等特別支援学校 松井恵子氏

5日目 ★★★ 定員106名

令和8年(2026年)1月12日(祝・月)

神戸ポートオアシス502.503 定員106名

「発達障害と精神障害の鑑別」
揖保川病院副院長 中井 祥博氏

「アセスメントとフォーマット※2練習」
ひょうご発達障害者支援センター 山内雅樹

6日目 ★★ 定員85名

2月17日(火) 中央労働センター 小ホール

「発達障害の方の、非行・触法への具体的支援」
兵庫県地域生活定着支援センター「ウィズ」
所長 益子千枝氏

「就労支援ー相談・評価・ジョブマッチング・定
着支援についてー」
兵庫障害者職業センター 山本 健夫 氏

「発達障害のある方への支方法ーストレスマネジ
メント・問題解決・対人スキル支援」
兵庫教育大学大学院 井澤信三氏

7日目 ★★★ 定員50名

3月13日(金) 神戸ポートオアシス502.503

「事例検討の進め方」※2 大正大学名誉教授近藤直司氏

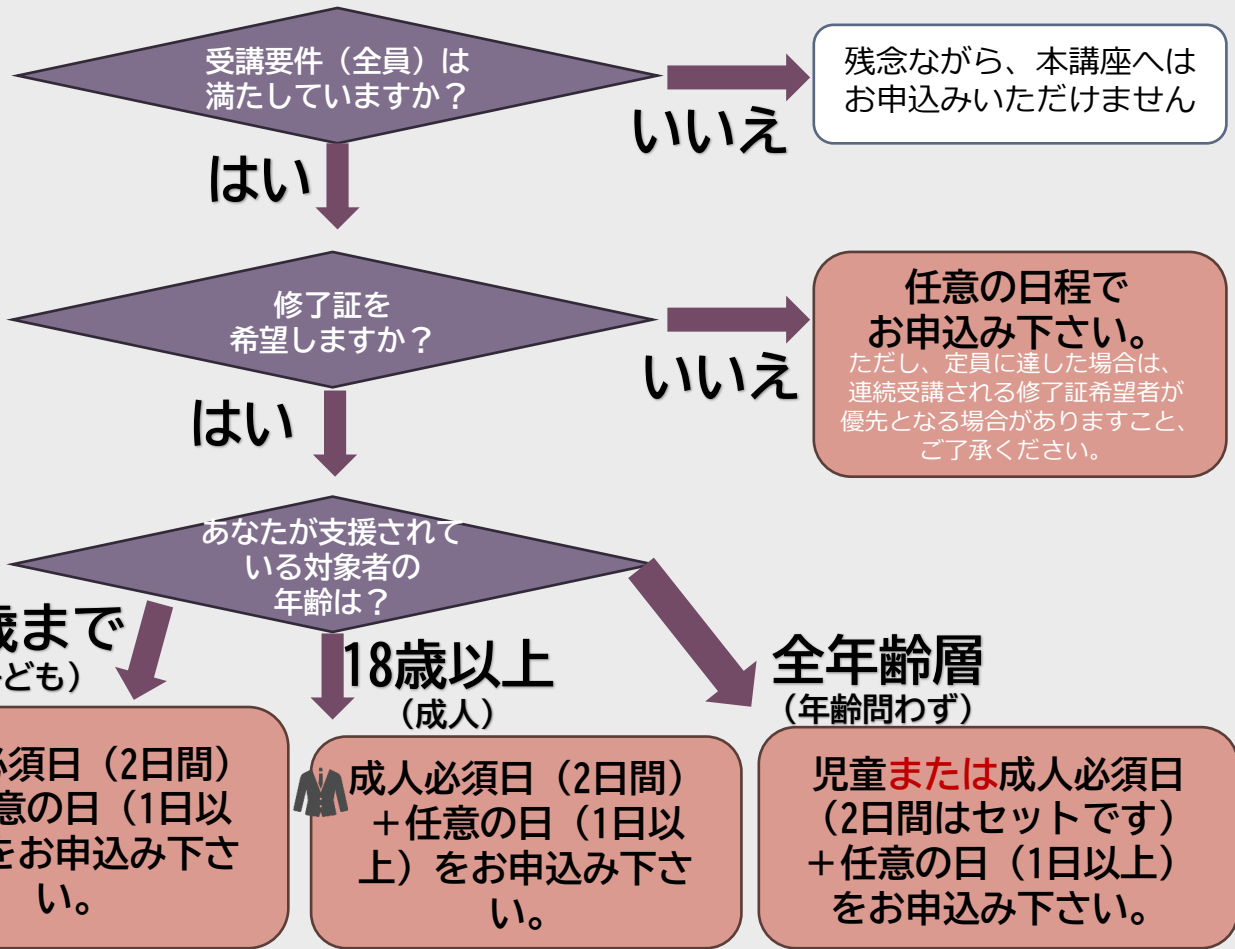
講座受講について

・連続受講

・1日だけの受講

いずれも可です。

※ただし、日によって連続受講の方が優先になる場合がありますので、ご了承ください。



受講要件

・受講申し込みにあたり以下の事項をご確認ください。

【全員】

- 1) 参加希望日は1日を通して参加可能な方
- 2) 現在、現場で実際に発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害：ADHD、学習障害：LD）のある方の支援に関わっている方
- 3) 所属先が兵庫県内にある方

【修了証希望される方】 上記3つに加えて

- 1) 修了証発行**必須日（2日）+ 任意の1日の合計3日間以上**の受講
- 2) 修了証発行必須日は、実際の事例をもとにホームワークに取り組んでいただくこと、グループワークが含まれます。いずれも参加可能な方

ワークの内容について

【18歳までの子どもの支援者の方向け】※1

18歳までの支援者向けのワークにおいては、「個別支援計画」を作成します。
(様式は、各事業所、教育委員会の物を使用いただいて結構です)

「個別支援計画」とは、利用者の希望や、その実現に向けた取り組みを記載する、いわば支援の根幹ともいえるものです。事業所には、利用者一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成する義務があります。

学校教育の中では、学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点で幼児期から学校卒業までの一貫した支援を行うために学校が中心となって作成する計画を指しています。そのため、教育関係者に加え、家庭や医療、福祉などの関係機関と連携不可欠とされています。

作成には必要な項目が定められています。それらを踏まえた書き方のポイントなどをワークでは学びます。(現状では、福祉サービス事業所においては計画作成者が決められていますが、今回のワークの中では、現在計画作成できるお立場ではない方でも、作成をしていただきます)

【18歳以上の成人の支援者の方向け】※2

実際に担当をされておられる成人の方(発達障害の疑いも可)の『アセスメントのためのフォーマット』(下表)を書いていただき、そのシートを題材としたグループワークを実施します。

研修資料④ アセスメントのためのフォーマット(1)									
インテイク (情報の収集・整理)			アセスメント (評価)				プランニング (支援計画策定)		
情報 (見たこと、聴いたこと、データなど)			理解・解釈・仮説 (わかったこと、推測したこと)		支援課題 (支援の必要なこと)		対応・方針 (やるうと思うこと)		
			生物的事象 (疾患や障害、気質など)		①				
			心理的事象 (不安、葛藤、希望、自己感、認知、 内省性、感情統制、防衛機制など)		③				
					④				
					⑤				
			社会的な事象 (対人関係、職場・学校への適応)		⑥				
					⑦				
					⑧				

※本様式は国立障害者リハビリテーションセンター学院での「相談支援従事者指導者養成研修」などで用いられていたアセスメントシートの“オリジナル”の内容になります。講座内では、本様式について、シートを作成するだけでなく、職場で実施できるケースレポートの仕方やケース検討会議の方法についても、近藤直司先生から直接お話が聞ける講座内容になっております。

お申込み・支払いについて

- ・お申し込みは下記URLもしくはQRコード先の**入力フォーム**よりお申し込みください。

URL : https://hyogo-clover.com/form/Development_Disabilities_Supporter_training_2025/



- ・申し込みが受付されますと、自動返信メールが送信されます。必ずご確認ください。

入力フォームには、**kensyuu_@hyogo-clover.com**からのメールが受信できるメールアドレスをご記載ください。数日たっても確認メールが届かない場合は、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください

- ・任意の日程に関しては、マークを参考にご選択ください。

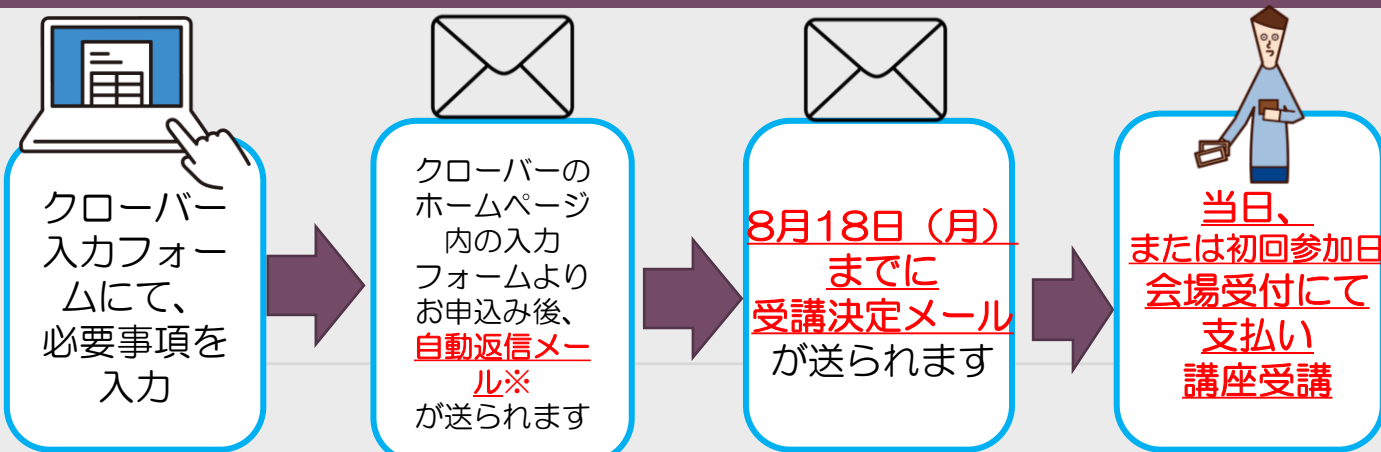
・お申込みいただきましたら、**8月18日(月)までに【受講決定通知】**をお送りします。ただし、定員に達した場合は、その時点で受付中止となる場合があります。

- ・**お支払い金額は、以下の通りに、現金でお願いします。**

参加日数	お支払い金額	支払い方法	参考
1日 参加	3,300円	参加日ごとに、受付にてお支払いください	1日当たり 3,300円 (3,000円+300円税)
2日間参加	6,600円		1日当たり 3,300円 (3,000円+300円税)
3日間参加	9,000円	初回参加日に、参加日数分を、受付にてまとめてお支払いください	1日当たり 3,000円 (本体価格+税)
4日間参加	12,000円		1日当たり 2,750円 (本体価格+税)
5日間参加	15,000円		1日当たり 2,642円 (本体価格+税)
6日間参加	16,500円		
7日間参加	18,500円		

- ・急遽、ご欠席となられた場合でも返金はありませんので、ご了承ください。
- ・受講途中で参加日数を増やしてご参加いただいた場合も、上記の割引金額は適用されませんので、予めご了承ください。
- ・ご不明点がございましたら、ひょうご発達障害者支援センタークローバーまでお問合せください。

受講までの流れ



※ 1週間以内に自動返信メールが届かない場合、入力受付がうまくできていない可能性がありますので、当センターまでご連絡ください

会場について

※日によって会場が異なりますので、お間違いのないようお越しください



1日目：9月7日（日）・3日目：11月9日（日）
・5日目：2026年1月12日（祝・月）・7日目：3月13日（金）

■神戸ポートオアシス502.503会議室

公共交通機関をご利用の場合

- ・ JR／阪急／阪神
 - ： 「三ノ宮駅」「神戸三宮駅」より徒歩18分
 - ・ ポートライナー
 - ： 「貿易センター前駅」または「ポートターミナル駅」より徒歩10分
 - ・ 神戸市営バス
 - ： 29系統「税関前」より徒歩1分 ([29系統 停留所一覧](#))
 - ・ ポートループ
- 上下線で最寄の停車駅名が変わります。 ([公式サイト](#))
- ： ハーバーランド方面行「KIITO前」より徒歩1分
 - ： 三宮駅方面行「神戸ポートオアシス前」より徒歩1分

自動車をご利用の場合

阪神高速3号神戸線『京橋』出口から約5分

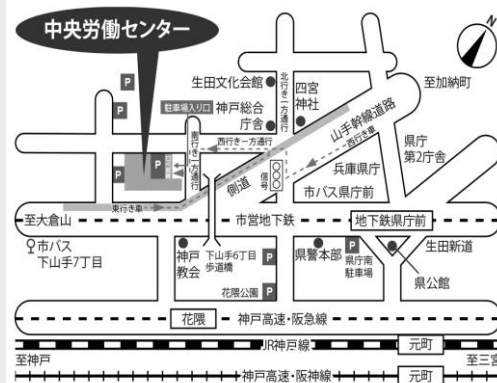


2日目：10月26日（日）・4日目：12月21日（日）
・6日目：2026年2月17日（火）

■兵庫県中央労働センター1階小ホール

○アクセス

- ・神戸市営地下鉄「県庁前」駅・西出口③より西へ徒歩8分
- ・神戸高速鉄道「花隈」駅・東口より北へ徒歩10分
- ・JR神戸線 「元町」駅・西口より西北へ徒歩15分
- ・阪神電鉄 「元町」駅・西口より西北へ徒歩15分
- ・駐車場は限りがあります。
- ・公共交通機関の利用にご協力ください。



主催・問合せ：ひょうご発達障害者支援センター クローバー

電話 : 079-254-3601 FAX : 079-254-3403

e-mail : auc.clover@nifty.com

共催：兵庫県



講師紹介1

吉田 友子 先生

iPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）
所長
東京都出身 精神科医師 千代田クリニック院長。
iPEC 所長。専門は発達精神医学

【主なご経歴】

1985 年、東京慈恵会医科大学卒業。
横浜市総合リハビリテーションセンター児童精神科、横浜市北部地域療育センター診療係長などを経て、よこはま発達クリニックの設立に関与し 2000 年 2 月から 20 年間勤務。
2020 年 3 月、発達精神医学の観点から回復と成長を支援する千代田クリニックを開業。
2005 年 2 月に iPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）を設立し自己理解支援に関する取り組みに従事。立教大学・明治大学・東京女子大学での学生面談や、大学・療育センター等の内部研修・利用者勉強会などを継続受託している。

【主なご著書】

* 吉田友子著：高機能自閉症・アスペルガー症候群「その子らしさ」を生かす子育て 改訂版（2009 年・初版は 2003 年）中央法規出版
* Lorna Wing 監修・吉田友子著：あなたがあなたであるために―自分らしく生きるためのアスペルガー症候群ガイド（2005 年）中央法規出版（Lorna Wing 博士は自閉スペクトラムやアスペルガー症候群の提唱者である）
上記 2 著書は英訳され英米でも出版されている（ジェシカ・キングズレー社）。
* 吉田友子著：自閉症・アスペルガー症候群「自分のこと」のおしえ方（2011 年）学研

松井 恵子 先生

兵庫県立西神戸高等特別支援学校 教諭
公認心理師 学校心理士 特別支援教育士

【ご経歴】

兵庫県公立中学校及び県立特別支援学校勤務
ひょうご専門家チーム派遣相談員
特別支援教育コーディネーター

兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 障害児教育専攻修了
井上雅彦（現 鳥取大学）研究室所属
国立特別支援教育総合研究所 長期研修派遣 武富博文研究班所属

専門：応用行動分析、発達障害、教育課程、キャリア教育、コミュニケーション

【ご著書】

『月刊 兵庫教育 No.749』（共著）兵庫県教育委員会 2013 年
『HUMAN RIGHTS -いま 私がひらく 未来-』（共著）兵庫県教育委員会 2021 年
『HUMAN RIGHTS -いま 私がひらく 未来- 活用の手引き』（共著）兵庫県教育委員会 2021 年
『知的障害教育におけるレッスン・スタディ』（共著）東洋館出版社 2023 年
『キャリア発達支援研究 10』（共著）ジアース教育新社 2024 年

村井 敏宏 先生

学校法人青丹学園 発達・教育支援センター フラーテル L.C. 所長
奈良県生まれ。広島大学教育学部卒。特別支援教育士スーパーバイザー・言語聴覚士。

【主なご経歴】

1980 年より、奈良県小学校教員。大阪教育大学特別専攻科（竹田契一研究室）に内地留学後、1986 年度より「ことばの教室」を 32 年間担当。退職後、現職。
読み書き障害（ディスレクシア）の指導と研究、教材開発にあたる。

【ご著書・他】

「読み書きが苦手な子どもへの〈基礎〉トレーニングワーク」（明治図書）
「読み書きが苦手な子どもへの〈つまずき〉支援ワーク」（明治図書）
「読み書きが苦手な子どもへの〈漢字〉支援ワーク」1～3 年編・4～6 年編
「読み書きが苦手な子どもへの〈漢字〉支援ワーク」教科書対応版（明治図書）
「読み書きが苦手な子どもへの〈作文〉支援ワーク」（明治図書）
「誤り分析で始める！学びにくい子への『国語・算数』つまずきサポート」（共著、明治図書）
「誤り分析を支援につなげる 読み書きの「つまずき」アセスメントブック」（明治図書）
iPad アプリ「音韻認識力をはぐくむ！ひらがなトレーニング」（明治図書・App Store）

益子 千枝 先生

社会福祉法人みつみ福祉会 兵庫県地域定着支援センター「ウィズ」所長
精神保健福祉士、公認心理師、福祉心理士

【ご経歴】

精神保健福祉士、公認心理師、福祉心理士。
2000 年 4 月～2013 年 3 月まで社会福祉法人大阪自彊館（おおさかじきょうかん）入職にて救護施設、大阪市野宿生活者巡回相談室に勤務、2009 年 8 月同法人から大阪府地域生活定着支援センターの立ち上げ時に出向。
2013 年 5 月から社会福祉法人みつみ福祉会入職にて兵庫県地域生活定着支援センターに主任相談員として勤務し、現職に至る。関連する活動として、関西エリアトラブルシューターネットワーク・一般社団法人もふもふネットの活動に協力している。

【主なご著書】

『当事者と援助者の「共助する関係」』[水藤昌彦](#)（著、編集）、[関口清美](#)（著）、[益子千枝](#)（著）、[服止ネネ](#)（イラスト）現代人文社（2020/9/25）

講師紹介2

大六 一志 先生

公認心理師
日本臨床発達心理士会茨城支部支部長／S.E.N.S.の会茨城支部会会長
日本版WISC-V刊行委員、日本版WAIS-IV刊行委員

【主な経歴】

1993年 東京大学 大学院人文社会系研究科 心理学専攻博士課程
1993-1997 東京大学 大学院総合文化研究科 助手
1997-2000 武蔵野女子大学 文学部人間関係学科 専任講師
2000-2004 武蔵野女子大学 文学部人間関係学科 助教授
2004-2008 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 講師
2008-2012 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 准教授
2012-2016 筑波大学 人間系 教授
2018～現在 放送大学 客員教授

【主な著書】

『[特別支援教育の理論と実践（第4版）Ⅰ 概論・アセスメント](#)』花熊 暁, 鳥居 深雪, 小林 玄 (担当:分担執筆, 範囲:心理検査法Ⅰ:ウェクスラー式知能検査Ⅰ 基本的な理論) 金剛出版 2023年4月
『[公認心理師の基礎と実践14 心理的アセスメント](#)』津川 律子, 遠藤 裕乃 (担当:分担執筆, 範囲:第8章 知能検査) 遠見書房 2019年4月
『[改訂新版 障害児・障害者心理学特論:福祉分野に関する理論と支援の展開](#)』大六 一志, 山中 克夫 (担当:共編者(共編著者)), 範囲:2 障害児・障害者と発達 / 4 障害児・障害者のためのアセスメント技法1:アセスメントの流れ / 5 障害児・障害者のためのアセスメント技法2:検査法 / 15 まとめと今後の展望) 放送大学教育振興会 2019年3月
『[公認心理師技法ガイド:臨床の場で役立つ実践のすべて](#)』下山 晴彦, 伊藤 絵美, 黒田 美保, 鈴木 伸一, 松田 修 (担当:分担執筆, 範囲:WISC) 文光堂 2019年3月
『[特別支援教育の理論と実践（第3版）Ⅰ 概論・アセスメント](#)』上野 一彦, 室橋 春光, 花熊 暁 (担当:分担執筆, 範囲:心理検査法Ⅰ:WISC-IV) 金剛出版 2018年4月
『[これからの発達障害のアセスメント:支援の一步となるために](#)』黒田 美保, 稲田 尚子, 田中 康雄, 宇野 彰, 大六 一志, 萩原 拓, 岩永 竜一郎, 桑原 斉, 三宅 篤子, 川久保 友紀, 山末 英典, 柘植 雅義 (担当:分担執筆, 範囲:知的水準・認知特徴のアセスメント) 金子書房 2015年8月

中井 祥博 先生

医療法人 古橋会 揖保川病院 副院長。

【主な経歴】

神戸大学医学部卒業後、神戸大学医学部付属病院、揖保川病院、県立光風病院に勤務し、平成17年2月より揖保川病院副院長。その他、健康福祉事務所にて、発達の遅れのある幼児や発達障害児の「遊びの教室」・「親子教室」、「思春期相談」等に専門医として関わり、親子教室の卒業児童のフォローとして小学生・中学生の相談体制の支援を行った。

山内 雅樹

ひょうご発達障害者支援センタークローバー相談支援員
公認心理師、臨床心理士。

成人期の発達障害のある方（疑いも含む）を主に担当し、ご本人からの相談だけではなく、ご家族や企業等からの相談にも対応している。

中田 洋二郎 先生

立正大学 名誉教授 品川介護福祉専門学校 校長
（臨床心理士：専門は発達臨床心理学、発達障害の家族支援）

【主な経歴】

学歴：早稲田大学文学研究科修了（文学修士）
職歴：都立知的障害児通園施設心理判定員、国立精神・神経センター精神保健研究所思春期精神保健研究室長、福島大学大学院教育学研究科教授、立正大学心理学部教授、（現在）品川介護福祉専門学校校長、立正大学名誉教授、立正大学心理臨床センター顧問

社会活動：日本小児精神神経学会名誉会員、日本児童青年期精神医学会会員、日本ペアレント・トレーニング研究会副会長

【主な著書】

『子どもが発達障害といわれたら：幼児期から大人になるまでのQ&A70』中田 洋二郎（監修）、猿渡 知子他（著）中央法規出版 2019

『発達障害のある子と家族の支援：問題解決のために支援者と家族が知っておきたいこと』中田洋二郎 学研プラス 2018

『軽度発達障害の理解と対応 一家族との連携のために一』中田洋二郎（著）大月書店 2006

『AD／HDのペアレント・トレーニングガイドブック 一家庭と医療機関・学校をつなぐ架け橋一』岩坂 英巳、中田洋二郎、井瀬知美（著）じほう 2004

『子どもの障害をどう受容するか 一家族支援と援助者の役割一』中田 洋二郎（著）大月書店 2002

『読んで学べるADHDのペアレントトレーニング 一むずかしい子にやさしい子育て一』シンシア ウィットム（著）中田 洋二郎（監修訳）明石書店 2002

『発達障害のペアレント・トレーニング簡易版:プログラムの進め方と運営のコツ』[中田洋二郎](#)（著）中央法規出版 2023

近藤 直司 先生

精神科専門医、子どものこころ専門医、日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーバイザー、大正大学名誉教授

【主な経歴】

東海大学医学部卒業後、東海大学医学部精神科学教室、神奈川県立精神医療センターで勤務。山梨県立精神保健福祉センター所長（山梨県中央児童相談所副所長を兼任）、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長を経て、2014年から2023年まで大正大学心理社会学部臨床心理学科教授。日本思春期青年期精神医学会副会長。

【主な著書】

『ひきこもり問題を講義する』（岩崎学術出版、2019）
『アセスメント技術を高めるハンドブック【第3版】』（明石書店、2022）

講師紹介3

白石 雅一 先生

宮城学院女子大学 教育学部教育学科 児童教育専攻
教授
公認心理師・臨床心理士・介護福祉士

【ご経歴】

東北福祉大学社会福祉学部福祉心理学科卒業。日本社会事業大学大学院修士課程を修了。自閉症療育の代表施設である社会福祉法人喜泉の諸施設（子どもの生活研修所めばえ学園や袖ヶ浦ひかりの学園など）において、自閉症児・者を対象にした療育実践と研究活動に従事。東海大学健康科学部、仙台北百合女子大学人間学部を経て、2004年より現職。1997年から『子どもの療育相談室』を主宰。以来、年間200回に上る療育相談のセッションを実施している。2005年11月より、宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」にて専門相談員を兼務。療育実践の他に、学校巡回相談や福祉施設のコンサルテーション、親を対象にしたペアレント・プログラムも行っている。またNPO法人「くもりのち晴れ」の理事として発達障害の人たちの地域生活に関与し、支援員の研修も担っている。

【主なご著書】

『自閉症とこだわり行動』（共著）東京書籍 1993年
『障害者の心理と支援』（共著）福村出版 2001年
『「気がかりな子」の理解と援助』（共著）金子書房2005年
『自閉症スペクトラム 親子いっしょの子どもの療育相談室』東京書籍 2010年
『こだわり行動攻略BOOK 子ども用ワークブック』アスペ・エルデの会 2010年
『特別支援教育 実践のコツ』（共著）金子書房2011年
『自閉症スペクトラムとこだわり行動への対処法』東京書籍 2013年
『発達障害の子の子育て相談④こだわり行動 理解と対処と生かし方』2018年 本の種出版
『おもちゃ教材で育む人間関係と自閉スペクトラム症の療育』2024年 東京書籍 他

【インターネット】

遠見書房HP 心理面接の道具箱
<https://shinrinlab.com/dougu14-2/>

井澤 信三 先生

兵庫教育大学大学院 特別支援教育専攻 障害科学コース
教授

【ご経歴】

専門分野は発達障害臨床心理学、応用行動分析学。多摩市教育研究所（発達相談・就学相談）、YMCA西東京センターアスカクラス（LD児の社会性指導）、東京学芸大学教育学部附属養護学校（教員）、その後、兵庫教育大学講師、准教授を経て2014年より現職。

【主なご著書】

『ちゃんと人につきあいたいー発達障害や人間関係に悩む人のためのソーシャルスキル・トレーニング』（共著、エンパワメント研究所、2015）
『発達障害のある人の問題となる行動を解決するための理論と実践～応用行動分析学をベースにした相談支援～』（単著、あいり出版、2022）

濱口 直哉 先生

社会福祉法人 あかりの家 地域支援センター あいあむ センター長・東播磨圏域コーディネーター・主任相談支援専門員 （社会福祉士、介護福祉士）

【ご略歴】

岡山大学 経済学部Ⅱ部 経済学科卒業
岡山で過ごした学生時代は公立中学校「心の教室相員」として不登校生徒や障害のある生徒と関わるなど、学業と仕事の二束のわらじを履く日々を過ごす。
平成13年4月 国立療養所 長島愛生園入職
ハンセン病療養所での仕事を通して、究極の「生きがい」「人権」などについて体感する。
平成15年4月 社会福祉法人 あかりの家 入社
現在は「誰もが地域で安心して生きていくために」を合言葉に、障がいのある方の地域生活支援体制づくりや災害時の支援体制づくりに各地を奔走している。

（その他）

- ・兵庫県合理的配慮アドバイザー 委嘱
- ・加古川市成年後見制度利用促進及び権利擁護制度検討委員会 委員
- ・県立東はりま特別支援学校 学校評議員会 委員
- ・加古川雇用（連絡）調整会議 委員
- ・東播磨相談事業者チーム支援ネットワーク 主宰者
- ・兵庫県相談支援ネットワーク 理事
- ・日本相談支援専門員協会 理事
- ・日本福祉大学 非常勤講師（社会福祉実習担当）

【ご著書等】

- ①『相談支援専門員のための「サービス等利用計画&モニタリング報告書」のつくり方』 2024.7 中央法規出版 （分担執筆）
- ②『改訂 障害者相談支援従事者研修テキスト ～現任研修編～』 2025.2月 中央法規出版 （分担執筆）
- ③『ファミリーソーシャルワーク』 2025年4月ミネルヴァ書房 （コラム掲載）

山本 健夫 先生

兵庫障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー

【ご経歴】

平成6年4月に日本障害者雇用促進協会（現：高齢・障害・求職者雇用支援機構）に入職。以降、兵庫、岐阜、宮崎、大阪の地域障害者職業センターにて、ジョブコーチ支援事業をはじめ、職業リハビリテーション業務に障害者職業カウンセラーとして従事。平成20年4月からは石川障害者職業センターに主任障害者職業カウンセラーとして勤務。以降、大阪、京都の地域障害者職業センターの勤務を経て、令和3年4月より現職。

前阪 敬介

障害者支援施設 あかりの家 生活支援員
兼ひょうご発達障害者支援センター相談支援員
公認心理師・臨床心理士

【主な経歴】兵庫県強度行動障害地域生活支援事業担(2018年)
兵庫県発達障害者地域支援マネージャー（2025年4月～）